

第20回

子どもドリーム フェスティバル

平成29年度発表記録集



かみやちこども園
うさぎ組



ドリーム宝達小学校



トイレリフォーム実行委員会



スマイリーズ



内灘中学校 演劇部

石川県健民運動推進本部

は じ め に

「子どもドリームフェスティバル事業」は、明日の石川県を担う健全で創造力豊かな青少年の成長を願い、子どもたちが日ごろ抱いている「夢」を、仲間とともに、地域の人々の協力や専門家の方々の支援を受けながら、子どもたち自身の力で実現させる事業で、今年度で20回の節目を迎えました。

今年度は、県内各地から35件の夢の応募がありました。どれも実現して欲しいと思うものばかりでしたが、その中から5つの夢が選ばれ、子どもたちは、ドリームサポーターをはじめ地域の皆様のご協力のもと、「夢」の実現に向けて様々な活動に取り組みました。

また、大人たちが協力して取り組むことにより、子ども会活動やPTA活動、育友会活動が活性化したという声もいただきました。このことは、主催者として大きな喜びであり、関係の皆様方に深く感謝を申し上げます。

子どもたちが「夢」を実現するまでの過程には、様々な苦労や困難があったことと思われませんが、1月28日に県立音楽堂で開催した子どもドリームフェスティバルのステージでは、大舞台に臆することなく、生き生きと自信にあふれた姿がみられました。

子どもたちには、この「子どもドリームフェスティバル事業」を通して身につけた、自分の夢を大切に、実現に向けて努力することの素晴らしさを忘れないでほしいと思います。また、保護者や周囲の大人の皆様には、今後とも子どもたちの健やかな成長を温かく見守り、励ましていただきますことを心より期待するものであります。

平成30年3月

石川県健民運動推進本部

— 目 次 —

はじめに	1
目 次	2
おおきなしゃぼん玉に入りたい	かみやちこども園うさぎ組 3
コンサートを開きたい	ドリーム宝達小学校 9
トイレリフォーム大作戦	トイレリフォーム実行委員会 15
森山児童館一輪車パフォーマンス	スマイリーズ 21
楽しいミュージカルを披露したい	内灘中学校演劇部 27
「夢」の発表 集合写真（1月28日 県立音楽堂邦楽ホール）	33
活動メンバー一覧	34
第20回子どもドリームフェスティバルを終えて 各実行委員会の意見（抜粋）	35
実施要領	36

おおきなしゃぼん玉に入りたい

◎グループ名

かみやちこども園 うさぎ組

◎夢の内容

自分たちで大きなしゃぼん玉を作ってその中に入りたい

◎夢の理由

しゃぼん玉あそびをしている子ども達から「おおきなしゃぼん玉に入りたい」という声が聞かれ、是非その夢を叶えたいと思い応募した。

◎事業の内容

数々の実験を重ねる中でしゃぼん玉の不思議やおもしろさを体験しながら夢を実現させる。

◎経過

月 日	区 分	活動内容
7月	実行委員会の組織作り	<ul style="list-style-type: none"> ・計画の細案作成 ・講師の依頼
8月	夢の実現に向けての準備	<ul style="list-style-type: none"> ・講師の決定、打ち合わせ ・子どもたちとしゃぼん玉の実験
9月	うさぎ組ドリームフェスティバルに向けての準備	<ul style="list-style-type: none"> ・講師と共に引き続き重ねる ・案内状の発送、当日についての打ち合わせ
10月14日	うさぎ組ドリームフェスティバル開催	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者を招待して、これまでの活動報告及び夢の実現を行う。
10月15日～	本番の発表に向けての準備	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の振り返りとまとめ
11月	〃	<ul style="list-style-type: none"> ・発表内容の確認と準備 ・発表用プレゼン作成、原稿作成
12月	本番の発表に向けての練習	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちと一緒に発表の練習を重ねる
1月28日	子どもドリームフェスティバル	<ul style="list-style-type: none"> ・県立音楽堂にて夢の成果発表

◎役割分担

◇子どもたち しゃぼん液作り、しゃぼん玉の実験、発表の練習	◇実行委員会 計画作成、講師依頼、活動補助、会計
----------------------------------	-----------------------------

☆ドリームサポーター

金沢大学 サイエンス・ラボ：実験の計画、補助

おおきなしゃぼん玉に入りたい!!



ある日、いつものようにしゃぼん玉をしていると、誰が一番大きなしゃぼん玉を作れるかの比べ合いが始まりました。



もっともっと大きいしゃぼん玉が作りたいうので、どれくらい大きいのと聞くと手をいっぱい広げて「これくらい!」と表現してくれました。



その時、「そんなに大きいしゃぼん玉出来たら僕たち入って飛んで行ってしまおうよ!」という声上がり、しゃぼん玉にはいれる?はいれない?と問答になりました。



そこから子どもたちの「しゃぼん玉に入りたい!」という夢が誕生しました。

夢の実現に向けて実験スタート!!

8月28日 シャボン玉の材料を買いに行こう

まずは材料のお買い物♪



砂糖と洗剤を買ったよ。



みんなでお買い物たのしかったね☆

8月30日 シャボン液を作ってみよう

自分たちで作ったシャボン液だよ。



一緒に吹いてみよう♪



いつもより大きい
シャボン玉ができたよー!

そ〜っと吹くよ。



9月13日 いろいろなシャボン玉で遊ぼう

担任が弾むシャボン玉を実演しました!



ハンガーにモールを巻いてシャボン玉をしました。いつもより大きいシャボン玉ができて大喜びの子ども達でした。



9月20日 身近にあるものでしゃぼん玉を楽しもう



ドリームサポーターのサイエンスラボの方々が遊びに来てくれました。

今日は、いろいろな実験をするよ～



牛乳パックとストロー



たくさんのストロー



うちわ



9月22日 おおきなしゃぼん玉を楽しもう

支柱とタコ糸を使って作るよ！！



それ～～！！

すごーい！！！！



9月25日 しゃぼん玉ショー

かみやちこども園のホールにて、サイエンスラボの方々がいろいろなしゃぼん玉を実演して、見せてくれました。ドライアイスを使った白いしゃぼん玉など、初めて見るしゃぼん玉に子どもたちは目を輝かせていました。

10月14日(土)

うさぎ組ドリームフェスティバル開催★

★夢が叶ったよ★

しゃぼん玉に入ってみてどうでしたか？



虹みたいに見えてドキドキしました！

夢の実現以外にもいろいろなしゃぼん玉を楽しみました！

ドライアイスを使った白いしゃぼん玉



軍手を使った弾むしゃぼん玉



支柱とタコ糸を使った大きなしゃぼん玉



おっきいの
できたよ〜！

10月15日の北國新聞に載りました！



1月28日(日)

第20回子どもドリームフェスティバル

もうすぐ本番！緊張するなあ。



みんなで力を合わせて、



がんばるぞー！！



副知事と一緒に

記念撮影★



しゃぼんだまとんだ やねまでとんだ～♪



おおきな声で元気よく台詞を
言うことができました！！

インタビューも上手に言えたよ★



たくさんの方の協力のもと、夢を叶えることができました!!

貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

コンサートを開きたい

◎グループ名

ドリーム宝達小学校

◎夢の内容

コンサートを開いて地域みなさんにも夢を届けたい

◎夢の理由

学校の音楽の発表会がとても楽しかった思い出があり、もっと大きな舞台で皆さんに歌を聞いてもらえるようにコンサートを開きたいと思いました。

◎事業の内容

宝達小学校の歌の好きな子ども達を募集し、みんなで協力してコンサートを開いて地域の方に披露する。

◎経過

月 日	区 分	活動内容
7月27日	実行委員会発足	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会組織づくり ・事業計画、役割分担の打合せ ・指導者依頼
8月	活動に向けての諸準備	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者募集 ・活動計画作成 ・指導者決定
9月	練習開始	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者決定 ・指導者との打合せ ・今後の進め方協議
10月	コンサートの練習・準備	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達による話し合い ・衣装等の最終確認
11月5日	コンサート開催	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々や全校児童に披露
11月～1月	発表の準備・練習	<ul style="list-style-type: none"> ・発表内容確認 ・役割分担協議 ・掲示物作成 ・発表用プレゼン原稿作成
1月24日	発表練習	<ul style="list-style-type: none"> ・本番に向け全体練習
1月28日	ドリームフェスティバル	<ul style="list-style-type: none"> ・県立音楽堂にて夢の成果発表

◎役割分担

◇子どもたち 合唱の曲決め、パート決め、衣装決め、台本作り	◇実行委員 計画作成、講師依頼、活動補助、会計、引率、記録、発表指導
----------------------------------	---------------------------------------

☆ドリームサポーター

宮本治美先生（ピアノ教室主宰）：合唱指導、ピアノ伴奏、発表指導

金子昌代先生（音楽教室主宰）：合唱指導

コンサートを開きたい♪

🎵🎵 夢がかなうまでの道のり 🎵🎵

8月 仲間の募集

17人でがんばるぞ



9月 放課後練習開始

歌詞は難しいけど覚えるぞ



10月 並び方決め

みんなの顔が見えるように



11月 リハーサル

おそろいのTシャツでやる気十分



11月5日 コンサート

たくさんの拍手をもらったよ



12月 台本作り

6年生4人で台本を作ったよ



1月 展示物の作成

みんなの夢がつまっているよ



♪♪ ドリームフェスティバル ♪♪



ダンスを
確認しよう

みんなで
お弁当
タイム



言葉は
ゆっくり
ハキハキと





さあ歌って踊ろう



ちょっとドキドキ

感想を書いているよ



🎵🎵 発表を終えた今の気持ち 🎵🎵

夢の舞台に立てて
うれしかったよ

ホッとしたけど終わって
残念な気持ちもあるよ

夢に向かって
がんばるよ

みんなから拍手を
もらえてうれしかったよ

楽しくとびきりの
笑顔でできたよ

友達の夢がかなって
すごくうれしかったよ



たくさんの方々のご協力によって「コンサートを開きたい」という夢がかないました。夢をかなえることの大変さと達成感を感じました。これからは、次の夢に向かってさらに自分を高めていきたいと思えます。ありがとうございました。

築57年の学校のトイレをリフォームし、居心地よくしたい！ (トイレリフォーム大作戦)

◎グループ名

トイレリフォーム実行委員会(山代小学校)[110名]

◎夢の内容

築57年の学校のトイレをリフォームし、居心地のよい空間にしたい

◎夢の理由

築57年が経つ学校の校舎には、卒業生や地域の思い出がたくさん詰まっています。しかし長年の時を経て、様々な場所に傷が蓄積され老朽化がみられる。その中でもトイレはかなり悲惨な状況である。そこで、トイレをリフォームし、居心地のよい空間を作りたいと思った。

◎事業の内容

山代小学校6年生でトイレを居心地のよい空間へリフォームし、それを地域に向けて披露する。

◎経過

月 日	区 分	活動内容
8月	実行委員会の組織作り	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画の打合せ ・活動計画の作成 ・ドリームサポーターの依頼の検討 ・児童へのドリームフェスティバルの説明
9月	活動に向けての諸準備	<ul style="list-style-type: none"> ・ドリームサポーターとの打ち合わせ ・トイレのデザイン作成 ・デザインの決定と計画
10月	トイレリフォーム 中間発表に向けて練習	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの間仕切りの清掃 ・ダイノックシートにデザインを描く ・描いたデザインを切り、トイレの間仕切りに貼る ・発表に向けて練習
11月	中間発表 ～夢広場～	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレリフォームの経過や様子を発表
1月	本番に向けて練習	<ul style="list-style-type: none"> ・発表に向けて練習
1月28日	ドリームフェスティバル ～県立音楽堂邦楽ホール～	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレリフォームの発表

◎役割分担

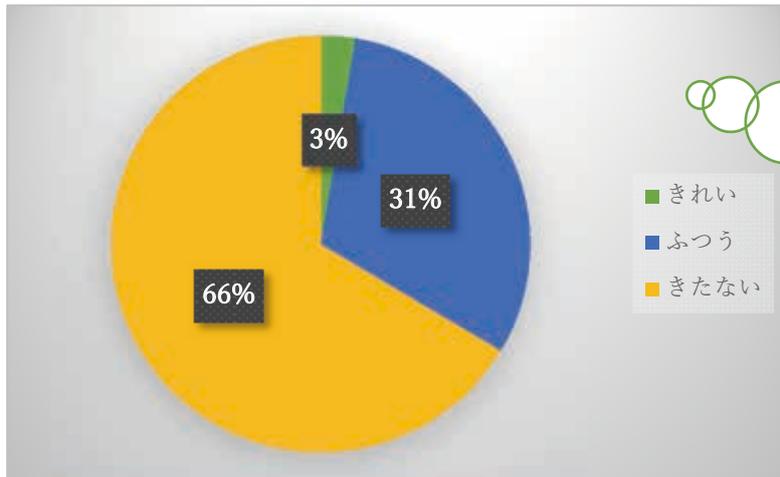
◇児童 トイレのデザインづくり、ダイノックシートにデザインを描く、トイレの間仕切りにシートを貼る、発表をする	◇サポーター 計画作成、活動補助、会計、講師依頼、プレゼン・DVDの作成
---	---

☆ドリームサポーター

濱田 泰正さん デザイン作成とリフォームの指導

学校のトイレを居心地良くしたい！！

山代小学校の4年生～6年生の児童が抱く、トイレの印象



トイレに対してよい
印象を持っていな
い児童は多い…

トイレの気になるところベスト3

- 1 壁や間仕切りが汚れている
- 2 便器が気になる
- 3 床がきたない

他にもたくさん気になる点があります…

一番気になる間仕切りをリフォームし、
トイレを明るく居心地の良い場所へ！！



そこで、加賀市の伝統工芸である九谷焼に目をつけました。「九谷焼」は大聖寺初代藩主前田利治の命令で生産された加賀市が世界に誇る名品です。その九谷焼には、赤色・青色・緑色・黄色・紫色の五色を使っています。これを使ってトイレのイメージを変えようと考えました。

9月

トイレの間仕切りを綺麗に清掃



トイレの間仕切りをみんなできれに磨きました！！

10月



ドリームサポートの濱田さんによって、トイレの間仕切りに木の幹が出来上がりました。



10月21日(土)、いよいよリフォーム開始！！



保護者の方にも協力をお願いしました。
ダイノックシートに型を取り、切っていく作業。みんな真剣に取り組んでいます。



切ったシートを間仕切りに貼っていく作業



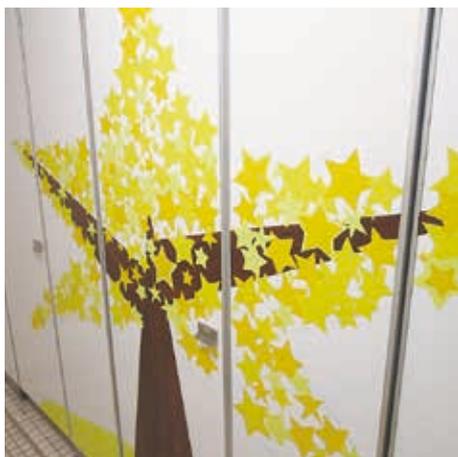
テーマは赤色がハート・青色がしずく・
緑色がクローバー・黄色が星・紫色がぶ
どうです。

切った型を、それぞれのテーマにあわ
せた形へ貼っていきます。様々な大きさ
や向きなどを考えながら貼っていきま
した！！



ついに完成！！

みんなで力を合わせて、素敵なトイレにリフォームされました。
雰囲気がとても明るくなりましたね！！



1月28日 県立音楽堂にて トイレリフォーム大作戦発表



トイレリフォーム大作戦を終えて…

築57年の校舎。汚いイメージがあった学校のトイレ。そのイメージを変えようと、子ども・保護者・そしてドリームサポートの方々と力を合わせて素敵なトイレへとリフォームすることができました。

子どもドリームフェスティバルを通して、学校のトイレをリフォームするという経験は、子ども達にとって大きな財産になりました。これからも学校のトイレを大切に使ってほしいと願っています。本当にありがとうございました！！

森山町小学校最後の思い出として、体育館のフィギュアスケートと言われる一輪車のとてもすてきな演技を石川県の人に見てもらいたい

◎グループ名

スマイリーズ（金沢市立森山児童館一輪車クラブ）

◎夢の内容

建て直しになる森山町小学校の最後の思い出に、体育館のフィギュアスケートと言われる一輪車の演技の発表会を開催したい。

◎夢の理由

石川県では、一輪車の演技はあまり普及しておらず、全国大会に出場した時に見た他県のチームの素晴らしい演技に感動し、いつか、そのような素敵な演技が自分でも出来るようになって、石川県の人たちに見てほしいと思いました。そして自分たちの通っている森山町小学校が建て直しになるということもあり、今までお世話になった学校の最後の思い出として発表会を開催したいと思い「夢」の応募をしました。

◎事業の内容

一輪車の技や演技の練習をし、自分たちで曲に合わせた構成を考え、大きな体育館で発表会を開催し、多くの地域の方々に披露する。

◎経過

月 日	区 分	活動内容
8月	実行委員会の組織づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画の打ち合わせ ・活動計画の作成と役割分担 ・講師の決定と依頼 ・会場の決定
8月～11月	活動に向けての諸準備	<ul style="list-style-type: none"> ・講師による特別練習会 ・チラシの作成・配布 ・衣装制作 ・発表内容についての検討・プログラム作成
11月25日	「一輪車演技発表会」開催	<ul style="list-style-type: none"> ・金沢市総合体育館にて発表会開催
12月～1月	音楽堂での発表の諸準備	<ul style="list-style-type: none"> ・講師への礼状作成・送付 ・音楽堂での発表内容の確認、準備、練習 ・発表用プレゼン・掲示物作成
1月28日	子どもドリームフェスティバル ～県立音楽堂邦楽ホール～	<ul style="list-style-type: none"> ・大舞台での夢の成果の発表 ・一輪車演技披露

◎役割分担

◇児童 一輪車演技発表の練習	◇サポーター 計画作成、講師依頼、活動補助、会計、引率、記録、衣装作成
-------------------	--

☆ドリームサポーター

須郷 真弥（元世界チャンピオン）：一輪車演技指導

一輪車の一般的なイメージと言えば・・・

体育館にあるなあ
乗ってこぐのは上手にできるよ
乗って走るだけだよ

といった感じではないでしょうか？



石川県ではまだ一般的ではない一輪車演技。

体育館のフィギュアスケートと呼ばれています。

全国大会も世界大会も開催されていて、

多くの日本人チャンピオンがうまれています。

その一輪車演技をもっと石川県に広めたい！

そんな夢をスマイリーズのみんなは持っています。

そこで、もっと一輪車演技を石川県の人々に知ってもらうために

発表会を開きたいと思いました。

7月

9月に福島で行われる全国大会に向けて練習開始！



年々、難易度の高い技や大きなフォーメーションに挑戦。
今年は発表会でも披露できるように力が入ります。
お母さんたちは衣装を作ってくれました。



曲のイメージに合わせたデザイン、そして色々な装飾でどんどん華やかになっていきます。早く着たいな～。楽しみ！！

この後も金沢市主催の緑花フェスティバル・児童館フェスティバル・児童館の近くのデイケアセンターさくら庵で一輪車の演技をみていただく機会をもらいました。

9月

元世界チャンピオンの須郷先生の特別指導！

一輪車の技術や演技の指導をしていただきました。



みんなの表情も真剣そのもの。厳しくも楽しい練習ができました。



9月17日

第5回さわやか全国小学生一輪車大会 出場！

福島県で開催された全国大会に出場しました。

日本トップクラスのチームの演技をみて、刺激を受けました。



11月25日

一輪車演技発表会 (金沢市総合体育館) !

待ちに待った演技発表会!!



貴重な体験ができ、楽しかった！一生懸命練習して良かった。

沢山の地元の方に一輪車演技を見てもらえて良かった。

多くの人に感動してもらえて嬉しかった。

失敗せずに出来て、達成感があった。

大会とは違う緊張感があったけど、頑張ることができた。

石川県内の小学校や保育園・幼稚園などにチラシを配布させていただいた効果でしょうか、予想をはるかに超える約400人の方々が来て下さいました。発表会をきっかけに一輪車演技に興味を持ってくれたお子さんもいて、嬉しい!

1月日28日

第20回 ドリームフェスティバル報告会！

スマイリーズ、みんなの夢を叶えたドリームフェスティバルの報告会です。念入りなりハーサルをさせていただき、本番ではしっかりと皆さんに演技をみていただくことができました。

貴重な機会を頂き、ありがとうございました。



音楽堂でも演技をさせてもらい、多くの人にみてもらえて良かった。仲間と一緒に発表でき嬉しかった。みんなで演技するとより良いものができて更に一輪車が好きになった。

たくさんの方にご協力頂き夢を実現することが出来ました！！これから、もっともっと一輪車の技術と演技力を磨き、頑張ろうと思います。本当にありがとうございました。



楽しいミュージカルを披露したい

◎グループ名

内灘中学校演劇部（18名）

◎夢の内容

演劇とは違う歌や踊りの要素が入ったミュージカルを披露したい

◎夢の理由

以前に高校生によるミュージカルの上演を見て感動し、自分たちもいつかやってみたいと思っていた。そこで、一人の生徒が演劇部の仲間と一緒にミュージカルをやってみたいということで、子どもドリームフェスティバルに応募した。

◎事業の内容

「白雪姫」のパロディ劇をミュージカル風アレンジしたものを校内文化祭や地域の大人や小学生に披露する。

◎経過

月 日	区 分	活動内容
8月	実行委員会の組織作りと打ち合わせ	
9月・10月	発表に向けての練習・準備	<ul style="list-style-type: none"> ・劇中歌の作詞 ・講師によるレッスン ・衣装、小道具の制作 ・ステージを使ってのリハーサル 等
10月26日	発表①内灘中学校文化祭	・内灘中学校の文化祭にて発表
11月・12月	地域のお披露目会に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスターによる宣伝 ・近隣小学校へメッセージカードを配布 ・発表に向けての練習
12月23日	発表②地域のお披露目会	・内灘町文化会館にて発表
1月	ドリームフェスティバルに向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・発表に向けての練習 ・講師によるレッスン
1月28日	発表③子どもドリームフェスティバル	・県立音楽堂にて夢の成果を発表

◎役割分担

◇生徒 ミュージカルの台本選び、劇中歌の作詞、音響・照明の考案、衣装・小道具の制作、ミュージカルの練習と発表	◇サポーター 計画作成、講師依頼、活動補助、会計、引率記録
---	----------------------------------

☆ドリームサポーター

竹多未佳 先生（ミカのカミカミプロデュース）：ミュージカル指導

子どもドリームフェスティバルに参加して

2年 桶谷 春凧

私たちは、内灘中学校の演劇部で日々活動しています。大きな舞台に立つことは年に1回ほどでした。でも今年は違いました。副部長が、この子どもドリームフェスティバルに応募し、しかも、「ミュージカル」をやると……。私たちは全然知らなかったのでも驚きましたが、せっかくの機会なので一生懸命取り組もうと思いました。ミュージカルの先生にも来ていただいて、曲も作ってもらいました。そのおかげで、私たちのミュージカルはとても良いものになったと思います。今までの部活の中で一番楽しい劇をすることができました。このような機会を下さった「子どもドリームフェスティバル」の関係者の方々と先生、副部長にとっても感謝しています。

仲間との絆

2年 西本 珠莉愛

私は子どもドリームフェスティバルを終えて、演劇部メンバーとの絆を感じました。まだ始まったばかりのときはグダグダで、あまりまとまっていませんでした。私はこのメンバーで大丈夫かと思ってしまうときもありました。でも、みんなが何回も練習し、協力しあってここまで辿りつけました。私にとって、子どもドリームフェスティバルはみんなを繋げてくれた素敵なものだと思います。小西さんが応募してくれたおかげで、部員が協力しあって、前よりも仲良くなり、絆が強まったと思います。これからもみんなと協力しあいたいです。



人生初のミュージカル

2年 山下 未湖

私は、演劇部が好きです。毎日楽しく練習してきた仲間と今回初めてミュージカルを体験しました。ミュージカルのレッスンは土日が多く、練習は難しくて嫌になる日もあったけれど、先生も含めて演劇部みんなでの練習は毎日楽しかったです。本番では、内灘中学校以外にもたくさんの団体が発表していて、すごく緊張しましたが、本番舞台に立つと、緊張よりも楽しい気持ちで演じることができました。これからはいろんな劇にチャレンジしていき、今回のミュージカルで学んだことと、楽しいという気持ちを持って演じたいです。

ミュージカルを終えて

2年 松代 柚希

子どもドリームフェスティバルを振り返って、大成功だったと思います。私は、今回は裏方として出ました。ミュージカルは歌を歌ったり、ダンスをしたりするのが大変だけど、キャストのみんなを見ていると、楽しさがたくさん伝わってきました。キャストのみんなは、練習のときの駄目出しを受けて、改善してより良くなっていくのがわかりました。これからの残り少ない公演をみんなと創り上げて頑張っていきたいです。

ミュージカルから学んだこと

2年 安江 彩華

私は最初、みんなでミュージカルをすると聞いてとても驚きました。ミュージカルは、台詞や歌、音楽、ダンスを組み合わせるだけでなく、その中に登場人物の楽しさや怒りなどの感情を表現しなければならないので、難しいと思ったからです。でも、練習をする中で、困ったときやわからないとき、誰かが失敗してしまったときは、部員みんなで励ましあったり、アドバイスしあったりして、みんなで一つのものを創り上げていくのがとても楽しかったです。今まで文化祭や文化会館でも発表したけど、このドリームフェスティバルでの発表が一番楽しかったし感動しました。私はミュージカルをしてよかったと思っています。最高のミュージカルになりました。



みんなで「夢」を実現して

2年 小西 結希乃

初めてミュージカルに挑戦して、初めの方はやったことのないことばかりで、わからないことだらけだったけど、約3か月間練習を続けて本番ではみんなそれぞれ力を出すことができましたと思います。会場の舞台では、いつもの舞台よりとても広くて少しだけ大変だったけど、設備の整った場所で発表することができたのでとても良い経験になったと思います。みんなで、ミュージカルという夢に挑戦し、実現することができて良い経験ができ、とても楽しかったです。



一生の思い出「ミュージカル」

2年 米澤 美菜巳

子どもドリームフェスティバルを終えて、音楽堂という場で上演することはこの先もうできないと思うので、貴重な体験ができて良かったです。本番では「白雪姫」として、観客を見入らせるような劇ができたと思います。夏休みが終わってから、文化祭、文化会館での公演、そして音楽堂での公演を成功させるために毎日頑張ってきて本当に良かったと思いました。竹多先生や曲を作ってくれた方、公演をサポートしてくれた方々には本当に感謝しています。演劇部のみんなと「異端白雪」をするのはとても楽しかったです。今年の夏で引退するのが嫌になりました。春には新1年生が入ってくるので、残りの期間を先輩として恥ずかしくないように活動したいです。一度しかない人生の一つの経験として、音楽堂でミュージカルができて良かったです。



緊張したけど楽しかった初めての舞台

1年 吉村 玲奈

私は裏方でステージには立っていないけど、音響という大切な仕事をしました。練習では、失敗ばかりだったので、本番は大丈夫なのかと不安でいっぱいでしたが、先輩や1年生のみんなの頑張りを見てみると、私も頑張ろうと思うことができ、それが今回の成功につながったのではないかと思います。緊張してとても手が震えていて、落ち着いてすることができませんでした。しかし、先輩方や1年生のみんなのおかげで失敗せずにすることができました。とても感謝しています。

挑戦する楽しさ

2年 坂江 春多

9月から1月下旬まで、今回のミュージカルに取り組んできました。そうして最後の舞台となりました。夏休み明け、3年生が引退して新体制となった私たちは、ミュージカルの台本選びから始めました。それからキャスト決めをして、本番が近づいてきました。私は役として、ソロの歌がない分、最後の歌に力を入れることができました。文化祭では、いろいろな友達からミュージカルに関する話がありました。それから文化会館、音楽堂での発表ではお客さんの笑い声がたくさんあって、私も幸せな気分になりました。演劇部員として、改めて演劇の楽しさを感じました。ミュージカルの経験は私にとって大切な一つの思い出になりました。これからも自分なりに楽しみたいです。



つらい練習を乗り越えて

2年 畑中 ゆな

私は今回猟師役を演じました。練習のとき、すごくすごく注意されました。言われる度に私のストレスはどんどん大きくなっていきました。でもそれが劇につながって、良いアドバイスだと思うようになりました。ずっと前から練習に励み、土日の休みが少ないのに不満をもったことがありました。少し大変だなと実感しました。でもこのつらい練習を乗り越え本番、ミュージカルを行ったとき、今までの成果が発揮できました。ステージに立っても全然緊張しなかったし、大きな声で歌うことができました。副部長が応募して、採用されたことにとってもびっくりしましたが、今では感謝しています。また、キャストとしてステージに立てたことをとても誇りに思っています。



ミュージカルを通して学んだこと

2年 中野 里咲

私は今回裏方でした。裏方はキャストよりも責任やプレッシャーが軽いかもしれませんが、その分、皆の手助けができるよう精一杯頑張りました。裏方の仕事は二回目でしたが、以前よりもやる事がいろいろあり、緊張した場面もありました。ミュージカルは初挑戦で、教えて下さる先生にも来ていただき、とても良い経験になったと思います。自分はキャストではないので、先生に教わることは少なかったですが、皆がダメ出しされているときに聞いたものを今後に活かしていきたいです。また、本番を行う音楽堂に貼る掲示物を作ったり、キャストが着る衣装作りを少し手伝ったり、裏方としても成長する機会にもなったと思います。今回のこのミュージカルを通して学んだことを忘れずにいたいです。これからも頑張ります。



みんなで見た景色

2年 船本 千尋

私はあまり大きな舞台で発表することがなかったので、部活のみんなでこうして大きな舞台で発表できたことが嬉しかったです。今まで準備が間に合いそうになかったり、やる気が出ない日があったりと、いろいろあったけど、楽しく劇を終えることができたので良い劇になったのかなと思いました。いつもはすることがない、ミュージカルという劇で最初は全然わからないことが多かったけど、竹多先生に手伝ってもらい、だいぶミュージカルらしくなっていったと思います。最後にはあんなふうにみんなで一丸となって、劇を創り上げられたのは、今まで少しずつでも進歩できたからかなと感じました。裏方を望んでやったけど、初めて他人の服を作ったので、わからないことがたくさんありました。でも、部活のみんなに助けってもらって作り終えることができて良かったです。



裏方として

2年 若原 一葉

私は今回裏方で全力を尽くしました。まず12月の文化会館での発表で、私はポスターを描きました。少しだけ衣装作りも手伝いました。キャストたちが一番良いかたちで演じられるように、裏方として一生懸命頑張りました。普段ない土日の練習もありました。少し大変でしたが、このミュージカルが成功したのは土日の練習もあったからだと思います。竹多先生には、とても明るく楽しい指導をしていただきました。それまで全く知らなかったミュージカルを初めて知って、そこからミュージカルをこんなに大きな舞台でできたことは一生の思い出になると思います。本当に素敵な思い出に。今回の活動に協力していただいた皆さん、本当にありがとうございました。



今までで一番のミュージカル

2年 疋田 紗菜

ミュージカル。劇中に歌を歌う劇。知識としては知っていたけど、まさか自分がするとは思いませんでした。「子どもドリームフェスティバルでミュージカルをすることになりました。」と言われ、最初はとても驚きました。何をしたらいいのだろうか？練習は？歌は？わからないことばかりでした。講師の先生が決まったときは本当に安心しました。ただただ未知だったものが、だんだん楽しくなりました。そして一回目の発表。歌と曲がズレたりして直すところばかりでした。二回目も成長しておらず、直すところは全然直せていませんでした。それからさらに練習を重ねました。子どもドリームフェスティバル本番。練習の成果が出せました。今までで一番のミュージカル。今回挑戦できて本当に良かったです。



最後まで楽しくやり遂げられた発表

1年 石渡 彩心

私は裏方で照明のスポットをする係でした。子どもドリームフェスティバル本番では、金沢舞台の方がしてくださったので、最後の踊るのが私の仕事のようなものでした。大きな舞台での練習は慣れないので、大変でした。初めてミュージカルをやって、最初はたくさんつまずきましたが、今までやってきたことが結果となったので、とても良い経験になりました。

初めての舞台

1年 米澤 脩斗



僕の最初の舞台は文化祭での馬役でした。先輩方は余裕の表情でした。でも僕の役はけっこう重要な役で、会場に笑いを届ける役でした。もし笑ってくれなかったら・・・と不安でした。でも気づけば本番でドキドキしながら僕は登場しました。すると会場はどっと盛り上がり、僕の気分も上昇して最後のダンスで拍手をもらい、初めての舞台が終了しました。意外な結末に終わり、びっくりでした。

次の舞台は音楽堂でした。文化祭の影響もあってかあまり緊張しませんでした。でもこれが最後なのでしっかり取り組んでやる！という気持ちが心の中にありました。そうこうしているうちに本番です。僕たちの前の一輪車の小学生たちは、かっこいい姿を見せて去っていきました。ここは最後だから決めていくぞ！と思い、舞台が開演。大成功しました！

たくさんの笑いとたくさんの思いやり

1年 幌村 侑希

私の周りのキャストは全員二年生で私はたった一人の一年生でした。他の一年生は裏方で、心細い気持ちはあったけど、移動したり荷物を運んだりするときに話していて、笑顔になれて励ましにもなりました。他の人が頑張っている姿を見て、パワーももらいました。先輩方が試行錯誤して話し合っている姿を見て、「来年はこんなふうになればいいんだな」と良い勉強にもなりました。当日のリハーサルで、衣装の帽子がとれてしまうというハプニングがありました。最後の最後に足を引っ張ってしまい申し訳なかったです。しかし、先輩たちがサポートをしてくれたおかげで無事に私らしい演技ができました。このミュージカルで、たくさん笑いとたくさんの思いやりに触れて、自分にとってかけがえのない素晴らしい思い出となりました。



みんなで協力したミュージカル

1年 西川 海凜

私は裏方として音響を担当しました。最初は場面に合った曲を決めていましたが、最終的にはプロの方の作曲による劇中歌をBGMとして活用することになりました。途中まで自分たちで選曲していたので、それが採用されず「今までせっかく考えてきたのに・・・」とそのときは少し残念でしたが、自分たちで歌詞を考えたりダンスを覚えたりするのは楽しかったです。1月28日の本番ではとても緊張してリハーサルでダンスを間違えてしまいました。だから、本番も間違えないか心配でしたが、間違えることなくでき、みんな今までで一番良い演技ができていたと思います。みんなで力を合わせて成功させることができたので良かったです。

「夢」の発表（1月28日 県立音楽堂邦楽ホール）



かみやちこども園うさぎ組／ドリーム宝達小学校



トイレリフォーム実行委員会／スマイリーズ／内灘中学校演劇部

活動メンバー 216名

◆おおきなしゃぼん玉に入りたい

窪 龍 治 池田 陽 鵜川 絢 萌 塩見 七 彩 松岡 想 真 中川 幸 咲
 谷内 雄 飛 今井 世 音 角 彩 夏 山田 旺 奈 西川 侑 希 藤江 權 吏
 篠原 陽菜多 志村 巖 太 安田 博 貴 志鷹 香 莉 菜 上岸 猛 西尾 輝 来
 西村 綾 乃 池田 詩 菜 池上 陽 菜 東 円 蘭 磨 谷 口 琉 輝 濱 島 慶 亮
 新谷 怜 人 川端 悠 生 米 林 彩 希 辰 田 京 一 藤 田 康 志 郎 西 谷 優 生
 張 田 莉 未 藤 田 琉 衣 高 塚 帆 乃 花 川 端 皇 太 郎 押 田 美 虹 松 尾 星 凜
 西 村 光 湊 杉 山 美 斗 上 地 頼 吾

かみやちこども園うさぎ組(39名)

◆コンサートを開きたい

田中 友 理 松 浦 幸 子 山田 は つ き 北 心 音 越 野 陽 向 中 西 明 日 香
 山口 ゆ り あ 赤 池 知 哉 上 本 心 華 高 木 萌 々 菜 久 保 虎 太 郎 藤 本 愛 海
 山 田 な な み 上 牧 あ か り 岡 本 真 奈 宮 本 千 有 希 村 上 優 羽

ドリーム宝達小学校(17名)

◆トイレリフォーム大作戦

畦 地 翔 貴 有 佐 亮 石 川 真 湖 市 田 博 也 今 村 烈 梅 田 陸 央
 大 田 美 奈 角 谷 侑 祐 上 出 大 翔 北 村 映 理 菜 越 田 遥 斗 小 中 花 音
 小 西 音 色 齊 官 大 暉 下 崎 純 生 庄 田 陽 翔 袖 ヶ 市 花 怜 田 中 綾
 永 田 海 惺 中 出 里 奈 中 山 優 弥 納 谷 真 人 西 明 佳 音 灰 田 禅
 林 怜 玖 哉 東 美 咲 東 出 琴 子 東 出 萌 花 森 俊 亮 森 真 優
 山 田 琉 愛 山 野 遥 人 山 村 侑 也 山 本 心 菜 吉 田 宝 橘 彩 音
 西 谷 柚 里 伊 藤 里 桜 岩 村 瑠 斗 上 田 幸 栄 大 城 一 輝 川 上 柚 子
 幸 西 向 日 葵 越 田 羽 琉 齊 官 正 太 郎 佐 藤 遥 菜 椎 木 希 地 石 美 里
 下 口 う い か 上 願 怜 唯 亜 生 水 桃 子 瀨 口 光 曜 多 田 真 雪 田 中 友 輝
 田 中 大 翔 田 中 隆 侍 田 中 琉 菜 田 邊 絆 凧 出 口 漣 中 川 尚 輝
 西 山 蓮 柳 場 美 来 日 宇 貴 雅 東 哲 翔 東 出 愛 美 深 尾 李 璃 花
 前 多 雄 仁 水 本 隼 斗 森 下 亜 央 山 口 莉 央 山 崎 愛 哩 米 田 一 翔
 池 端 美 律 石 浦 大 輝 上 田 一 斗 浦 出 加 奈 詠 川 口 大 介 河 瀬 正 義
 川 西 紗 來 北 野 貴 悠 木 谷 明 後 藤 詩 小 林 大 晟 斉 藤 匠 磨
 下 出 朗 土 杉 本 莞 太 武 本 梨 珠 田 中 旺 介 田 中 幸 芽 富 永 侑 沙
 中 村 涼 歌 東 出 颯 斗 深 田 明 寿 咲 福 田 楓 藤 原 鈴 佳 前 野 稜
 牧 田 華 恵 松 本 桃 果 水 上 玲 音 宮 越 康 太 宮 下 慶 太 村 西 由 斗
 安 田 結 衣 山 下 翼 山 下 冬 花 山 田 優 樹 結 城 茉 耶 脇 本 里 桜
 渡 部 翔 太 渡 辺 悠 陽

トイレリフォーム実行委員会(110名)

◆森山児童館一輪車パフォーマンス

林 愛 里 名 倉 優 衣 南 玲 寧 藤 江 理 名 木 村 結 奈 小 坂 実 央
 山 岸 彩 萌 中 佐 美 希 三 井 田 珊 季 松 林 未 来 金 田 実 和 板 垣 幸 来
 武 部 杏 寿 名 倉 美 羽 西 田 有 希 久 保 優 華 角 野 樹 萌 石 崎 莉 央
 小 野 田 悠 山 峰 結 月 高 野 紗 希 三 井 田 胡 曆 中 佐 愛 美 坂 下 真 菜
 伊 藤 奈 々 林 麗 未 谷 掛 夕 夏 矢 徳 あ こ 親 谷 奈 那 田 中 こ は る 子
 宇 都 宮 彩 乃 田 中 さ く ら 子

スマイリーズ(32名)

◆楽しいミュージカルを披露したい

西 川 海 凜 幌 村 侑 希 米 澤 脩 斗 石 渡 彩 心 吉 村 玲 奈 畑 中 ゆ な
 小 西 結 希 乃 中 野 里 咲 松 代 柚 希 安 江 彩 華 若 原 一 葉 足 田 紗 菜
 米 澤 美 菜 巳 桶 谷 春 凧 西 本 珠 莉 愛 坂 江 春 多 船 本 千 尋 山 下 未 湖

内灘中学校演劇部(18名)

第20回子どもドリームフェスティバルを終えて

— 各実行委員会からの意見（抜粋） —

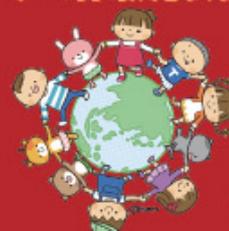
子どもたちの様子・成長について

- ・大きな舞台で発表するのは初めてのことで、緊張感を味わうことができた。また、成功したことが一人一人の自信になった。
- ・夢の実現のために仲間とスクラムを組むこと、困難を打ち破る勇気を持つこと、覚悟することなど大切な価値について実感できた。
- ・初めは自分のことだけで精一杯だった子どもたちも、みんなで練習していくうちに周りの友達のことも見えるようになり、仲間になっていった。
- ・夢の実現までにいろいろなことがあったからこそ、発表後の表情はたくましく見えた。
- ・様々なアイデアを出し合い、話し合うことでトイレをどのように明るくすればいいか、前向きに考えることができた。
- ・学校の一員として学校をより良いものにしようとする気持ちを持てた。
- ・演技について自分たちなりに話し合い、練習を重ね実現でき、達成感を味わうことができた。
- ・自分の演技に対して自信を持つようになった。
- ・実現に向け意気込みが感じられ、努力によって成果があることを体感できた。
- ・自らが周囲の人に支えられていると感じとることができるようになった。
- ・外部講師に指導してもらえたことで専門性や社会性を身に付けることができた。

大人たちの様子・感想について

- ・夢の実現までに大人たちの団結力が強まった。
- ・子どもたちの夢を実現する過程一つ一つが私たち自身の勉強となった。
- ・協力を依頼したドリームサポーターと交流をするようになり、次に繋げられるようになった。
- ・ステージの子どもたちの堂々とした姿を見て、やって良かった。また、子どもたちの力を感じた。
- ・保護者に呼びかけたことで多くの方がリフォームに関わってくださり、協力のすばらしさを感じられた。
- ・子どもの頑張る姿が大人にも励みになり、親子関係が良くなった。
- ・送迎など大変だったが発表会を成功させたことで疲れは吹っ飛び、親子共々良い思い出になった。
- ・実行委員ではない保護者の方も生徒の活躍を楽しみに発表を見に来られていた。

第20回 子ども ドリームフェスティバル 一夢の体験発表会



入場無料

平成30年1月28日(日)13:30開演
石川県立音楽堂 邦楽ホール

◆出演◆

かみやち子ども園うさぎ組 (金沢市)
おおきなシャボン玉に入りたい

ドリーム宝達小学校 (宝達志水町)
コンサートを聞きたい

トイレリフォーム実行委員会 (加賀市)
トイレリフォーム大作戦

スマイリーズ (金沢市)
森山児童館一輪車パフォーマンス

内灘中学校演劇部 (内灘町)
楽しいミュージカルを披露したい

主催 石川県 石川県民運動推進本部
後援 石川県教育委員会

第20回 子どもドリームフェスティバル事業実施要領

1 事業概要

子どもたちのグループで実現したい「夢」を募集し、選考された「夢」の実現を支援するとともに、選考された「夢」を一堂に集めて体験発表会を開催する。仲間や地域の人々と協力しながら子どもたちが主体となって「夢」を実現する過程を通して、自分で考え、判断し、決定し、行動ができる青少年の育成を図ることを目的とする。

2 主 催 石川県 石川県健民運動推進本部

3 後 援 石川県教育委員会

4 事業内容

(1) 『みんなでやってみたい私たちの夢』の募集・選考

応募資格 県内在住の中学3年生まで子ども2人以上のグループ（子ども会、クラス、クラブ、部活動などグループの形態を問わない。幼児の場合は親子のグループでも可）

応募方法 「第20回子どもドリームフェスティバル」案内チラシ裏面の応募用紙（当本部ホームページにも掲載）を使用してください。必要事項が記載されていれば、ハガキやFAX、電子メール等でも可。

応募条件 今年中に石川県内で実現できるもの。

応募締切 平成29年5月31日（水）消印有効

選考委員等 子ども・若者活動推進委員会本部員による選考委員会を設置し、応募のあった中からこの事業により支援するにふさわしい「夢」を数件、選考する。

選考時期 平成29年6月頃

(2) ドリームサポーター実行委員会による夢の支援

上記（1）により選考された「夢」それぞれについてドリームサポーター実行委員会を組織し、「夢」の実現に必要なサポート計画を作成するとともに、子どもたちが主体となった夢の実現をサポートする。

(3) 子どもドリームフェスティバル（体験発表会）の開催

「夢」の実現で得られた感動を分かち合い、努力や協調の大切さを広く県民に伝えるため、体験発表会を開催する。

平成30年1月28日（日）県立音楽堂を予定。



健民運動シンボルマーク

毎月第3日曜日は「家庭の日」です
家族とのふれあいを大切にしましょう

石川県健民運動推進本部

(石川県県民文化スポーツ部県民交流課内)

〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番地

TEL 076-225-1365

FAX 076-225-1363

ホームページ <http://www.pref.ishikawa.jp/seikatu/kouryu/>

メール kouryu@pref.ishikawa.lg.jp

最新情報はFacebook、ツイッターで発信
